

深志高山岳部にTシャツ

OB会 安全や部の発展願う

松本深志高校(松本市)の山岳部OB会(古幡開太郎会長)は5日、現役部員にオリジナルロゴ入りのTシャツを寄贈した。山行の安全や部の末永い発展への願いを、Tシャツに託した。

古幡会長と加々美隆副会長が同校に部員7人を訪ね、24着を手渡した。「MATSUMOTO FUKASHI 100年も続くように思い

ALPINE CLUB」の文字や、同校の校章にもあしらわれているトンボがプリントされている。大手登山用具メーカー製で通気性に優れ、山行に耐えられる機能も備えた。

古幡会長は「大正7(1918)年の創部以来、100年以上続く伝統ある部。次の100年も続くように思い

を込めた」と話し、部員のさらなる活躍を願った。Tシャツを受け取った塚山聖さん(17)



古幡会長(右)と加々美副会長(左)からTシャツを受け取る部員

「2年」は「触り心地が最高。受け取った思いを、安全で活発な活動でお返ししたい」と話していた。
(久保田貴大)